

2016' 合格体験記

山形大(医) 日本薬大(薬) 現役合格 杉田友里佳 (鴻巣中央小→鴻巣中→埼玉栄高)

この度、第一志望学科ではないですが、第一志望校である国立大学に合格できました。以下、合格に至るまでに私が感じ思ったこと、反省点などをお話します。

まず、センター試験で悲惨な点数だったにもかかわらず国立大学に合格できた最大の理由は、中学高校で徹底的に体に叩き込んだ東大ゼミの英語の授業にあります。授業といっても学校で受けるような受け身のものではありません。一人ひとり指されると、自分自身の頭で一問一問分析(SVOCMの五文型に分ける)をし、なぜこの答えになるかその根拠となる部分を考えて答えなければなりません。これにより英語を単なる暗記ではなく根本から理解できたと、「勉強は誰かに教わるのではなくまず自分の頭で考えることにある」という取り組む姿勢が身に付き大幅な成績アップにつながりました。そして国立二次試験ではこの「自分で考える」ことを武器に挽回できました。もし中学の時、東大ゼミに入っておらず塩田先生の英語の授業に参加していなかったら国立大合格は絶対になかったと言っても過言ではないのです。

次に、反省点ですが、これからの話は是非こうならないで欲しいと思うことなので良く聞いて下さい。前に話した通り私はセンター試験で失敗しました。そこから私はショックで立ち直れず、ここから本番だという所で勉強に手が付かずにいました。私立も滑り止めの一校しか受からず自暴自棄に。精神面での弱さが引き起こしたことです。勉強面では塩田先生に付いて行けば問題ありませんが、精神面は自分にしかどうにも出来ません。私のようにセンター試験で失敗してもその後の過ごし方一つで結果が大きく変わります。私は幸い二次試験が得意な英語だけだったのでなんとかなりましたが、センター後はとてももったいない使い方をしてしまいました。皆さんに言いたいのは、一度失敗してもすぐに気持ちを切り替えて次に臨むということ、最後まで諦めないことです。現役は最後の最後まで成績は伸びます。途中で諦めては本当にもったいないです。そして最後までやり切ってください。私の話がどれだけ後輩の皆さんの役に立つかわかりませんが、少しでも心に留めて頂ければ幸いです。最後になりましたが、塩田先生には本当に感謝しております。大学では先生の「世の中、人生についての色々なお話し」を胸に日々精進していきます。約四年間本当にありがとうございました。